

## オンライン授業 1コマの授業例

【教科・科目】（国語・国語総合【現】） 【分野・単元】（随想） 【テーマ・作品】（「わたしであり、あなたでなくちゃ」川上未映子）

【設定時数】全（5）時間中の（2）時間目 【単元目標】（【クラスでの交流もないまま在宅学習に入った新入生が】自らの体験に引き寄せて読解し、「ひとりきり」の重要性や自分らしさの問題について考える契機とする。）

本授業での学習内容	本授業で身につけさせたい 資質・能力	オンライン授業の流れ		授業内容	オンライン授業の工夫点
		タイムライン			①授業前に準備した、または授業中に施した工夫点 ②授業をしてみて、予想よりうまくいった点 ③授業をしてみて、予想よりうまくいかなかった点・改善点
		from	to		
「ひとりきり」による不安について確認する。	【思考力・判断力・表現力】 ・文章の構造を把握して的確に読み取る力	9:00	9:30	【Classi/Teams】<予習> ・予習ワークシート（内容読解・記述式）の問いを解く【読むこと】。	①予習ワークシート（ClassiとTeamsに前日配信） ③ノートに整理する指導が不十分だった。
		9:30	9:32	【Zoom】<導入> ・出席確認(TTが共同ホストで対応) ・前回の授業アンケートの質問への返答(1分) ・本時のめあて説明(1分)	①スライド資料（PowerPoint） ②画面確認や遅刻者対応などをTTに任せることで、スムーズに授業を始めることができた。 ③生徒と面識がほとんどないため、授業内でやり取りすることが難しかった。
	【思考力・判断力・表現力】 ・言葉によって感じたり想像したりする力 ・新しい情報を、自らの経験や感情に統合し構造化する力	9:32	9:43	【Zoom】<展開> ・スライド資料（PowerPoint）による解説【読むこと】	①画面のみに注視しやすいので、本文の確認が疎かにならないように随時教科書に線を引くなどの声かけを細目に行う。授業TT（共同ホスト）がスライド資料の映像の乱れや生徒の受講の様子を確認・観察し、必要があれば授業者（ホスト）に伝える。途中入室者やチャットでの質問もTTが対応する。 ②生徒の学習活動が一人ひとりよく確認できた。15分に集中するために予習する生徒が増えた。 ③15分の制約（通信制限への配慮）では、内容についてその場で生徒の意見を聞くことが難しいので、ワークシートを事前提出にして把握できればよかったが、現実的にその時間を確保するのが難しかった。
		9:43	9:45	【Zoom】<まとめ> ・まとめを行う(1分) ・授業アンケート、次時の指示(1分) ・質問がある生徒は残して対応	
	【思考力・判断力・表現力】 ・情報を編集し、考えを形成し深める力	9:45	10:15	【Classi/Teams】<復習>(30分) ・Classiの授業アンケートに回答、返信する（通信環境が悪く入室できなかった生徒も、この返信をもって出席とみなす）。 ・ClassiとTeamsに事後配信されたスライド資料を見てノートに整理する【書くこと】。	②授業アンケートの自由記述欄に、その時間に学んだことを書いている生徒が予想した以上に多かった。このサイクルで取り組めた生徒は、授業時間内に黒板の板書を写すよりも、主体性が身に付いたように感じている。 ③予習のワークシートは解くものの、復習でスライド資料をノートに整理していない生徒が多く、そのフォローが十分でなかった。